

科目	単位	時間	履修学年	講師名
論理学	1	30	1	
ねらい	文章や他人（特に患者）の言葉の意味を正しく読み取るための論理的思考力・批判的思考力を身につける。同時に、レポート・小論文などの文章を論理的に書く力を養う。これらの力は、今後学習を継続してゆくうえでその基盤となる。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 主語—述語 三段論法			講義
2回目	2. 演繹法、帰納法について			講義
3回目	3. 日本語の特徴について			講義
4回目	4. 敬語について			講義
5回目	5. 漢字について			講義
6回目	6. 現代仮名づかいについて			講義
7回目	7. 書き方の基本			講義
8回目	8. 書くまでの準備 書くことの意義			講義
9回目	9. 読点の論理			講義
10回目	10. 書く秘訣			講義
11回目	11. 用語の問題			講義
12回目	12. 推敲の仕方			講義
13回目	13. 私の看護観の書き方			講義
14回目	14. ケーススタディの書き方			講義
14.5回目 (45分)	15. 美しい文章を書くために			講義
15回目 (45分)	終講試験 (45分)			試験
教科書	看護学生のためのレポート・論文の書き方 (金芳堂)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]・100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
物理学	1	30	1	
ねらい	看護に必要な物理現象の意味を理解し、看護技術に応用できる。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 重いものを持つにはどうしたらよいか	講義 講義 講義 講義		
2回目	1) 力のモーメントとてこの原理			
3回目	2) 筋肉の張力と関節に働く力の大きさ			
4回目	3) 腰にかかる力と正しい姿勢 4) 看護ボディメカニクスの物理			
5回目	2. 身近な圧力	講義 講義		
6回目	3. 呼吸器と吸引の物理			
7回目	4. 点滴静脈注射の物理	講義 講義		
8回目	5. 循環器の物理			
9回目	6. 感覚器の物理	講義 講義		
10回目	7. 体温制御の物理			
11回目	8. 臨床場面で用いられる医療機器の物理学	講義 講義 講義 講義 講義		
12回目	1) レーザー光、超音波診断装置、超電導			
13回目	2) バイオ・セラミクス、放射線と放射能 3) 重粒子線治療、磁気共鳴画像装置 (MRI)			
14回目	4) 陽電子放射断層撮影 (PET)			
14.5回目	5) レーザードップラー式血流計			
(45分)	6) 形状記憶合金、サーモグラフィ装置			
15回目	7) ファイバースコープ			
(45分)	終講試験	試験		
教科書	看護学生のための物理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]・100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
情報科学の基礎	1	15	1	
ねらい	情報科学の理論、コンピューターの仕組みと機能・情報を扱う上での倫理について学び、コンピューターを活用する基礎的知識を身につける。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 情報化社会 1) インターネットのしくみとネットワーク	講義		
2回目	2. 情報定義と特徴 1) 情報とは 2) 情報の特性 3) 情報の伝達とコミュニケーション	講義		
3回目	3. 情報化社会で求められること 1) 情報社会でよりよく暮らすためのスキルやルール	講義		
4回目	4. 情報と倫理 1) 情報倫理とは 2) 知的所有権の尊重 3) プライバシーの尊重	講義		
5回目	5. 個人情報の保護 1) 情報利用の仕方 2) 研究における個人情報保護 3) ソーシャルメディアの普及と患者の個人情報	講義		
6回目	6. 医療・看護における個人情報 1) 医療従事者の義務 2) 個人情報の提供について注意が必要なケース	講義		
7回目	7. 情報利用の仕方 1) コンピュータリテラシーとセキュリティ 2) 情報管理とデータセキュリティ	講義		
7.5回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 別巻 看護情報学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]: 100点)・課題提出			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
情報科学 (ICT の活用)	1	15	1	
ねらい	思考力や想像力・表現力を身につけ、自分の考えを伝えるための方法を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目 2回目	1. パソコンの基本的操作 1) ワードの操作 (ワープロ) の使い方 2) 報告書の作成エクセルの操作 (表計算ソフト) の使い方 3) データの入力形式と表示方法 4) ワードソフトと表計算ソフトの連携			講義・演習
3回目 4回目	2. パワーポイント操作 1) パワーポイントの起動と標準画面 2) 編集の方法 3) アニメーションの設定			講義・演習
5回目 6回目	3. プレゼンテーションの演習 1) スライドショーの設定と実行 2) スライド作成の注意点 3) スライド発表の注意点			講義・演習
7回目～ 7.5回目 (45分)	4. ICT を活用した学習 1) zoom を利用したコミュニケーション			講義・演習 講義・演習
教科書	系統看護学講座 別巻 看護情報学 (医学書院)			
評価方法	課題レポート提出 (100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
哲学	1	30	1	
ねらい	哲学的な概念を学び、人間とは、生きるとは、老いとは、病むとは、死とは何かについて理解し、人間観、死生観について自己の考えを深める。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 哲学とは			講義
2回目	2. 古代ギリシャの人間理解 1) ソクラテス 2) プラトン			講義
3回目	3. 古代ギリシャの医学思想 アリストテレス			講義
4回目	4. 中世における人間理解 人間の強さと弱さ			講義
5回目	5. 近代哲学の人間観 世界把握の原理としての「私」			講義
6回目	6. 現代哲学における人間観 インフォームドコンセント			講義
7回目	7. 東洋思想の人間理解			講義
8回目	8. コールバーグの道徳性の発達段階			講義
9回目	9. 生命倫理とは			講義
10回目	10. 看護についての哲学的思考 ホリスティック看護			講義
11回目	11. 看護理論と哲学			講義
12回目	12. 現代の家族問題と倫理			講義
13回目	13. 発達障害、老い・高齢者の問題にまつわる倫理			講義
14回目	14. 精神看護と倫理			講義
14.5回目 (45分)	15. ターミナルケアにおける倫理			講義
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	哲学 看護と人間に向かう哲学 (ヌーヴェルヒロカワ)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]・100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
文化人類学	1	30	1	
ねらい	<p>私たちは、文化というレンズを通して物を見ています。この授業では、自分たちがどんなレンズを身に着けているのかに気づき、異文化に寛容になることを目指します。外国人との接触が増える今後の社会で、多様な物の見方があることを知り、異文化間の橋渡しができる看護者になることを目指します。</p>			
回数	授業内容			授業方法
1回目	食文化に見られる文化の多様性、文化人類学的思考とは 奈良における食文化の特徴			講義
2回目	文化相対主義とエスノセントリズム、普遍的な価値			講義
3回目	グローバル化、多文化主義と同化主義			講義
4回目	婚姻・家族の多様性			講義
5回目	近代家族の形成と変容			講義
6回目	近代家族と生殖技術をめぐる現代の課題			講義
7回目	身体観（痛み）と文化			講義
8回目	健康と病気（病因論、治療法、治療者の多様性）			講義
9回目	医療体系の多元性、出産を事例に			講義
10回目	看護と人類学、ケアと多文化理解の重要性			講義
11回目	現代社会における医療化とそのメリット・デメリット			講義
12回目	分類と境界のもつ意味			講義
13回目	通過儀礼の3つの側面、二項対立			講義
14回目	ジェンダー（社会・文化的な性）の視点で文化を見る			講義
14.5回目（45分）	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと女性の健康			講義
15回目（45分）	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験（1時間 [45分間]・100点） 講師：30分 70点 講師：15分 30点			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
社会学	1	30	1	
ねらい	社会の構造、機能、集団、家族について学び、社会的存在としての人間を理解する基礎とする。奈良県の歴史と文化を紐解きながら、奈良の地域性についても考える。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1.オリエンテーション ー社会学とは何か	講義		
2回目	2.社会学の考え方	講義		
3回目	3.社会学の基礎知識	講義		
4回目	4.自殺と健康の社会学Ⅰ	講義		
5回目	5.自殺と健康の社会学Ⅱ	講義		
6回目	6.公共性の社会学Ⅰ	講義		
7回目	7.公共性の社会学Ⅱ	講義		
8回目	8.社会格差と病気Ⅰ	講義		
9回目	9.社会格差と病気Ⅱ	講義		
10回目	10.福祉国家を考える	講義		
11回目	11.奈良の歴史と病気	講義		
12回目	12.奈良の文化と病気	講義		
13回目	13.公害・環境問題と国民の健康	講義		
14回目	14.奈良と水銀	講義		
14.5回目 (45分)	15.復習(振り返りと確認)	講義		
15回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 社会学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]・100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
心理学	1	30	1	
ねらい	人間の心理や行動の基礎にある原理を理解し、看護者として自己理解、他者理解を深める。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 心理学とは 心理学の歴史と研究法、看護と心理学			講義
2回目	2. 感覚・知覚の心理 感覚の種類と性質、知覚の諸現象、形と運動の知覚			講義
3回目	3. 学習の心理 条件づけとそのしくみ、条件づけに関する諸現象			講義
4回目	4. 記憶の心理 記憶のプロセス、忘却、日常記憶			講義
5回目	5. 知能・思考・言語の心理 知能の理論、知能検査、問題解決、言語と思考			講義
6回目	6. 感情・動機の心理 感情はなぜ生じるのか、動機の種類			講義
7回目	7. 性格の心理 類型論と特性論、性格検査			講義
8回目	8. 社会・集団の心理 対人認知、認知的不協和、態度変容、リーダーシップ			講義
9回目	9. 発達心理① 乳幼児期・児童期の認知発達			講義
10回目	10. 発達心理② 乳幼児期・児童期の社会的発達			講義
11回目	11. 発達心理③ 青年期～老年期の発達			講義
12回目	12. 健康の心理、臨床心理学の基礎と心理アセスメント ストレス理論、看護職者の心理、心理的援助の方法			講義
13回目	13. カウンセリングと心理療法① 精神分析、来談者中心療法			講義
14回目	14. カウンセリングと心理療法② 認知行動療法			講義
14.5回目 (45分)	15. 行動する人間の理解・まとめ			講義
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	看護学生のための心理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45 分間]・100 点)			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
人間関係論	1	30	1	
ねらい	人間尊重を基盤とし、人を愛する、慈しむことができる人間形成を目指し、人に対する深い洞察力や人間対人間の相互作用のあり方を学び、創造力・想像力を育み、豊かな感性を養うと共に、円滑な人間関係のための、より高度なコミュニケーション能力を養う。 また、演習を通じて、カウンセリング技法を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 食と笑い・食べ物を変えると、心と体が変わる 選択理論心理学 (1)			講義
2回目	2. 選択理論心理学 (2)			講義
3回目	3. コミュニケーションを高める傾聴法 (1)			講義
4回目	4. コミュニケーションを高める傾聴法 (2)			講義
5回目	5. ロールプレイ			演習
6回目	6. アンガーマネジメント (1)			講義
7回目	7. アンガーマネジメント (2)			講義
8回目	8. モチベーションマネジメント			講義
9回目	9. ストレスマネジメント (1)			講義
10回目	10. ストレスマネジメント (2)			講義
11回目	11. アドラー心理学			講義
12回目	12. アサーティブ・コミュニケーション (1)			講義
13回目	13. アサーティブ・コミュニケーション (2)			講義
14回目	14. ロールプレイ			演習
15回目	15. 試験			試験
教科書	・ 講師配布資料			
評価方法	・ 筆記試験 50 点 (45 分間) ・ 講義の参加度 50 点 ・ 講義中に他の科目の宿題、レポート作成など発見した場合およびスマートフォンなどの操作を発見した場合など合格点は出しません。			
備考	・ 講義資料を忘れた場合は講義が始まるまでに講師に申し出ること。 ・ 机の上には講義資料、筆記用具、水分補給のボトルのみ以外は置かないこと。			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
英会話	1	30	1	
ねらい	医療現場において用いられる英語の基礎を学び、演習を通してコミュニケーション能力を身につける。			
回数	授業内容			
1回目	オリエンテーション (コースの目標, 内容, 評価等についての説明.) Unit 1: Please speak more slowly. (英語で話しかけられた時の対応のしかた) Unit 2: Where are you from? (自己紹介に使う基本的な質問と答え方) 英語を用いた自己紹介, ペア会話練習.			講義・演習
2回目	Unit 3: Could you tell me your address, please? (ていねいな質問のしかた)			講義・演習
3回目	Unit 4: What department do you want to visit? (初診の患者に対する基本的な質問) Unit 5: Where is the X-ray department? (病院内の行先の尋ね方と答え方)			講義・演習
4回目	Unit 6: What are your symptoms? (症状の尋ね方①, 症状と徴候の表現)			講義・演習
5回目	Unit 7: Where does it hurt? (症状の尋ね方②, 人体各部の名称)			講義・演習
6回目	Unit 8: Have you ever had any serious illness? (病歴の尋ね方, 主要な病名)			講義・演習
7回目	Unit 9: Take one tablet, four times a day. ① (薬の服用に関する表現)			講義・演習
8回目	Unit 9: Take one tablet, four times a day. ② および中間試験			講義・試験
9回目	Unit 10: Let me make an appointment for your test. ① (検査予約の取り方, 検査に関する表現, 検査医療用語)			講義・演習
10回目	Unit 10: Let me make an appointment for your test. ②			講義・演習
11回目	Unit 11: Your surgery will be tomorrow at 9 a. m. ① (手術に関する表現, 手術前日のオリエンテーション)			講義・演習
12回目	Unit 11: Your surgery will be tomorrow at 9 a. m. ②			講義・演習
13回目	Unit 12: How are you feeling today? (入院患者との医療会話表現)			講義・演習
14回目	ナイチンゲール誓詞 (英文) の理解と発話訓練. 終講試験準備.			講義・演習
15回目	終講試験			講義・試験
教科書	クリスティーンのやさしい看護英会話 (医学書院)			
評価方法	小試験・授業参加度 (60点) 筆記試験 (中間・終講時) (40点)			

備考	<ol style="list-style-type: none">1. 毎回出席を取ります。授業は基本的に医療・看護学に関する知識を身につけ、関連する会話を聞き、話し、書く練習を通じて、英語によるコミュニケーションの能力を向上させることを目標とします。したがってできる限り出席して学び、そして訓練に参加するよう努めてください。2. 上記の「授業内容」に記載した進行度はおおよその目安です。無理のない授業とするために、その都度調整しながらコースを進めます。欠席した場合はクラスの人に進行度を確認して、必要な準備をして次週の授業に臨んでください。3. 教科書に収録されている医学・看護学専門用語を使用して、授業中に意味・発音・綴りを習得するための訓練・試験を行います。4回目くらいからの開始となりますので、自宅にて復習をして次週の試験に臨んでください。4. 上記専門用語試験の成績が優良でない場合は再試験、あるいは課題を課します。5. 合格するためには中間試験と終講試験は必ず受験してください。
----	--

科目	単位	時間	履修学年	講師名
運動と健康	1	30	1	
ねらい	運動と健康の関係を理解し、各健康レベルに応じた健康づくりのサポートに役立てる。 また体育を通してチームワークづくりに応用する。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 運動と健康との関係	講義		
2回目	2. 健康維持のためのトレーニング	講義		
3回目	ヨガ、ストレッチなど ウォーキング：興福寺、猿沢池、奈良公園など奈良の歴史に触れ、効果的なウォーキングを学ぶ	実技		
4回目	3. 運動場を使用した実技 体を動かし、チームワークやコミュニケーション能力を養う バレーボール、バスケット、 長なわとび、綱引き リレーなど	実技		
5回目				
6回目				
7回目				
8回目				
9回目				
10回目				
11回目		講義		
12回目	4. 運動・レクリエーション企画・運営 1) リーダーシップとメンバーシップ 2) レクリエーション企画 3) レクリエーション運営 まとめ・終講試験	講義・グループワーク		
13回目		講義・グループワーク		
14回目		講義・グループワーク		
15回目		講義・試験		
教科書	講師資料による			
評価方法	筆記試験 [30分間]・70点 実技参加状況 30点			
備考				